

トイレも学生コンペで決定！

建築を学ぶ全国の学生を対象に公共建築物の設計案を公募する「ひろしま建築学生チャレンジコンペ@びんごふちゅう」を、広島県と府中市の共催でこどもの国公園のトイレをテーマに実施しました。

学生コンペは、広島県が平成25年から実施しています。今回は過去最多の91作品が寄せられ、10月30日にi-coreFUCHUで最終審査会が開催されました。審査の結果、最優秀賞には、横浜国立大学・大学院3人のチームが設計した作品「トイレが集まる、トイレに集まる」が選ばれました。



トイレの整備は令和4年度中を予定しており、最終審査会の様子は府中市公式YouTubeで見ることができます。



府中市こどもの国に大型遊具が登場！

こどもの国ポムポムの隣にシンボリックな巨大な木をイメージした大型複合遊具のある公園を整備します。

この公園は、あらゆる年代の人々が集い、憩い、つながることができる空間づくりをコンセプトに、利用者が安心して楽しめるユニバーサルデザインによるインクルーシブな公園として整備します。併せて整備するトイレも、コンセプトに基づいた学生コンペの設計案を採用するなど、さまざまな挑戦を行っています。

府中市こどもの国は、昨年策定した府中市ランドデザインの中で「子どものMIRAI創造エリア」に位置付け、将来像の実現に向け着実に取り組んでいきます。



遊具整備は、公募型プロポーザル方式により、事業者を選定しました。

【最優秀提案者】
タカオ株式会社

新しい遊具の登場は、令和4年4月の予定です。

PicLike通信 vol.2

PicLike Camp 【作戦会議】

当日の様子は、
ブログでも公開中！

7月18日(日)に第1回を開催し、街の未来の理想像を描いた中で、メンバーから猛烈にプッシュされた「森のある公園」。森はすぐには作れないけど、まずはできることから始めてみようということで実施したのが、『PicLike Camp』。道の駅北の広場にメンバーがテントを持参し、キャンプサイトに変貌しました。



日が暮れて始めた作戦会議で、各メンバーから、「プログラミング教室や映画観賞会も楽しそう」「まずは芝生からどうだろう??」などのアイデアが出され、楽しい空間のイメージが一気に現実味を帯びてきました！



理想像の実現に向けて、社会実験を行っていきます。ワクワクする未来をみんなで一緒につくりませんか？

参加者は随時募集中です。興味がある人やアイデアをお持ちの人は、ブログのフォームから申し込みをしてください。ご応募お待ちしております！



ブログ

問い合わせ先 都市デザイン課 (☎43-7159)